

三井大相教授退任記念号の発刊に寄せて

三井大相教授は、2007年3月に本学をめでたく定年で御退任になられました。先生は、1987年4月に本学の教授として御着任になられ、以来、20年の長きにわたって本学に御在職され、教育、研究、学内行政に携わってこられました。その御功績に対して2007年5月に名誉教授の称号を贈らせていただきました。ここに先生の御退任を記念して、我々は本記念号（東京経大会誌（経営学）第258号）を先生に捧げて感謝の意を表したいと思います。

先生は、1936年に東京にお生まれになられました。1955年に香川県立丸亀高校を卒業になられ、東京大学文科Ⅱ類に入学されました。さらに、1958年に東京大学文学部心理学科に進学され1960年に東京大学文学部心理学科を卒業されました。御卒業後、日本国有鉄道に入社され、同社能率管理研究所、本社営業局経済調査課、鉄道労働科学研究所などに御所属になり、鉄道労働科学研究所主任研究員、室長、次長、所長などの御要職を務められました。また、日本国有鉄道御在職の1970年から1987年の間は、本学の非常勤講師として産業心理学や職業指導などの科目を御担当いただきました。その後、1987年に日本国有鉄道を退社され、同年4月に本学経営学部教授（産業心理学担当）に御着任になられました。

先生の主たる御研究テーマは、適性検査の研究と開発、企業内教育訓練の研究、旅客サービスに関する研究、企画商品の購買行動の研究、群集行動と避難誘導に関する研究、輸送サービスの（商品）特性に関する研究、事故研究への意識調査の適用、福利厚生施設の研究と多岐にわたります。現場で発生する具体的な問題を具体的に解決しながら発展する心理学＝現場心理学の方法と形成、が先生の問題意識とお聞きしました。大学生をはじめとする青少年の心理や進路の問題についても研究をされてこられました。さらに、その御研究を著した著書や論文も御業績リストに記載されておりますように多数に及んでいます。また、教育面でも、1987年に御着任以降、学部、大学院において産業心理学、消費心理学概論などの授業ならびに演習（ゼミ）、卒論指導などを御担当になられ、三井ゼミを巢立って、現在社会の各界で活躍しているゼミOBは多数になっております。

さらに、このような御研究・教育活動に加え、学生相談室相談室長、学生部長、入試委員長・入試本部長など数多くの御役職につかれ学内行政面でも多大な貢献をされました。特に、1998年、「流通マーケティング学科」設立後は、同学科の中心的な役割を御担当され、社会調査や市場調査などの御担当教授として多大な御貢献をなされました。

このような学内での御貢献に加え、学外でも、全国商工会連合会調査専門委員会委員、国民教育研究所調査専門委員会委員、JR東日本鉄道安全研究所学識専門委員などを務められ御専門分野での社会的発展にご尽力された御功績は極めて大きなものがあります。

以上、小生の把握した限りでもこのように学内外での御活躍は多岐にわたり改めて先生の

三井大相教授退任記念号の発刊に寄せて

御貢献の大きかったことに驚くとともに本学へ注がれた御厚情の深さに感謝いたしております。先生は今後も、近年増加が著しい非正規労働の問題や日本における現場心理学形成の歴史研究などの御研究を続けられたいとの御意向をお持ちのことです。本学を御退任になりましたが今後とも御指導いただければと思っております。

最後になりましたが、三井先生の益々の御活躍と御健康を祈念して先生の御紹介とさせていただきます。

2007年12月

経営学部長 中 光政